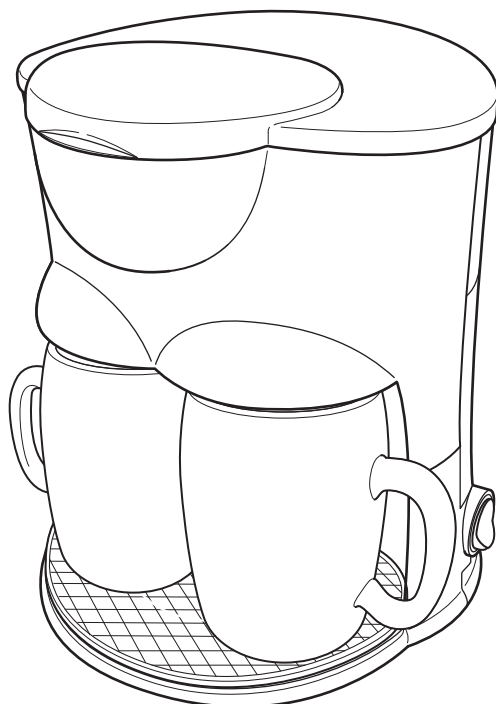


2 カップ コーヒーメーカー CMR-50B

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

も く じ

安全上のご注意	P. 2～3
各部の名称とはたらき	P. 4
正しい使いかた	P. 5～8
お手入れと保存	P. 9
修理・サービスを依頼する前に	P.10
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙



仕 様

型 名	CMR-50B
電 源	AC100V 50/60 Hz
定格消費電力	500W
種 類	ドリップ式（水容器一体型）
保温装置の有無	無
最大使用水量	約 300ml
外形寸法	約 幅 19 × 奥行 17 × 高さ 21cm
質 量	約 0.6 kg（本体のみ）
電源コード長さ	約 1.5 m
付属品	マグカップ×2、メッシュフィルター×1、計量スプーン×1、 取扱説明書・保証書 ×1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意











- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	㊄は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、㊄の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

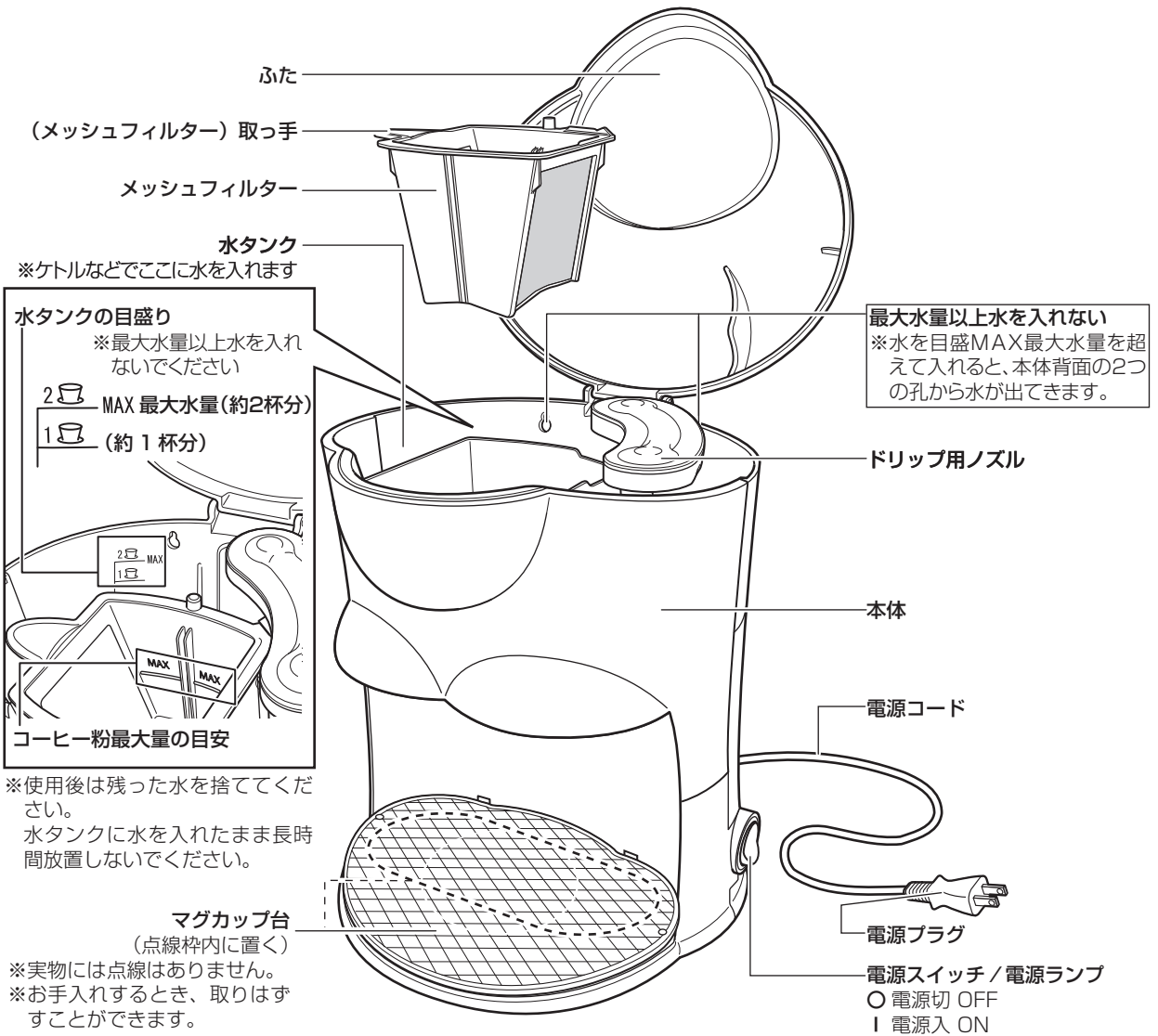
警告

 禁止	交流 100 V 以外では使用しない。 感電や火災の原因になります。	 指示	定格 15 A 以上のコンセントを単独で使う。 他の器具と併用すると分岐コンセント部が発熱して発火することがあります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 感電や発熱・火災の原因になります。	 指示	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着しているときはふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 プラグを抜く	使用後は電源プラグをコンセントから抜く。 火災や故障の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 プラグを抜く	お手入れのときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 感電・火災・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用しない。 感電・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	不安定なところやカーテンなどの可燃物の近く、熱に弱いものの上では使用しない。 けが・やけど・故障・火災の原因になります。	 水ぬれ禁止	本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 本体を水洗いしない。 感電・ショートの原因になります。
 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		

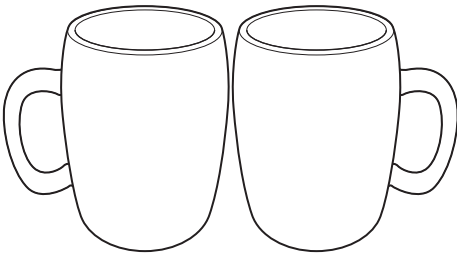
! 注意

 接触禁止	ドリップ中や使用直後、高温部に手を近づけない。特に乳幼児の手を触れさせない。 やけどの原因になることがあります。		マグカップを載せたまま、本体を動かさない。 やけどやけが、破損の原因になることがあります。
 禁止	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形や変色したり、火災の原因になることがあります。	 禁止	決められた容量以上のコーヒー粉・水を入れない。 コーヒーがあふれ出して、やけどや故障の原因になることがあります。
	直射日光が当たる場所、火や熱源の近くでは使用しない。 変形、故障の原因になります。		お手入れのときは住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	変形や破損のあるときは、使用しない。 感電や火災・やけどの原因になります。		水タンクにお湯や水以外のものを入れない。 熱湯があふれ出して、やけど、詰まりの原因になることがあります。
	電源コードが引っ張られた状態で使用しない。 断線などをおこし、火災や感電、やけどの原因になります。		ドリップ中にマグカップをはずさない。 変形・故障・やけどの原因になります。
	電源コードを束ねたまま使用しない。 火災の原因になります。	 指示	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電やショートの原因になることがあります。
ふたにふきんなどをかけてふさがない。 変形や変色の原因になることがあります。	お手入れは本体が冷めてから行なう。 やけどの原因になることがあります。		

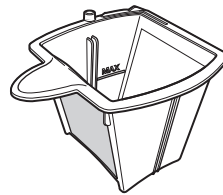
各部の名称とはたらき



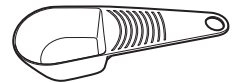
付属品



マグカップ (陶磁器)
(× 2)



メッシュフィルター (× 1)
(本体取付済)



計量スプーン (× 1)
(1 さじ 約 6g)

正しい使いかた

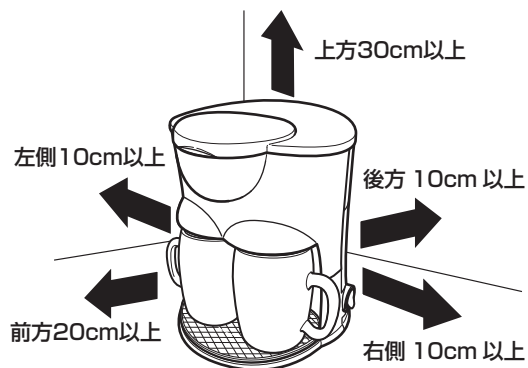
本体は壁や周囲から適当な距離を保ってください

本体は右の図のように設置してください。

次のような場所では使用しないでください。

- ・カーテンや壁、家具など可燃物の近く
- ・熱に弱い敷物の上

- ・本体は安定した水平な台などの上に設置してください。
- ・本体が熱くなったり、ふた周辺から蒸気が出ますので、周囲から適当な距離を保ってお使いください。

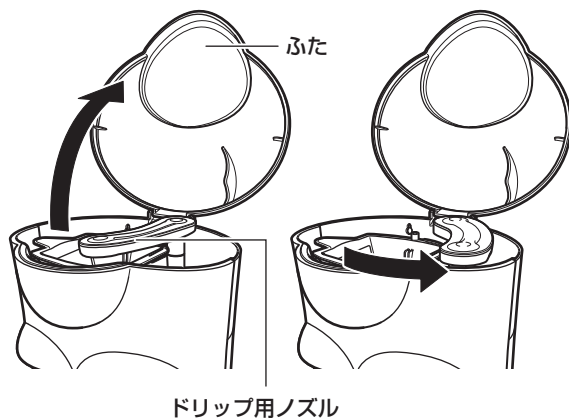


初めて使用するとき

- ・メッシュフィルター、マグカップを9ページのお手入れの方法に従って洗ってください。
- ・初めてご使用になるときや、長い間ご使用にならなかったときは、コーヒー粉を入れないで2～3回水だけでドリップをしてからご使用ください。
- ・使い始めはプラスチックの臭いがすることがありますが、しだいに臭いは少なくなります。

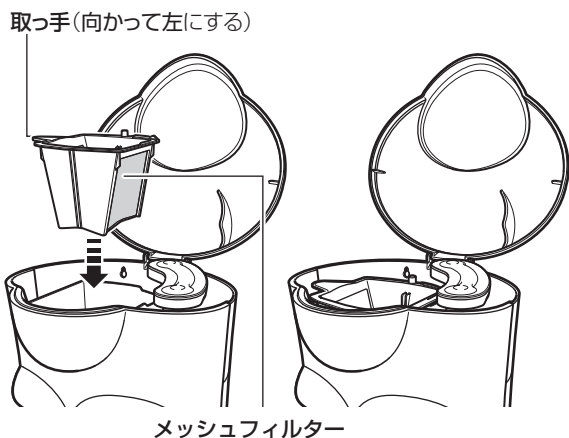
ホットコーヒーの作りかた

1. ふたを開け、ドリップ用ノズルを本体右側に移動させる



2. 本体にメッシュフィルターを取り付ける(入っていない場合)

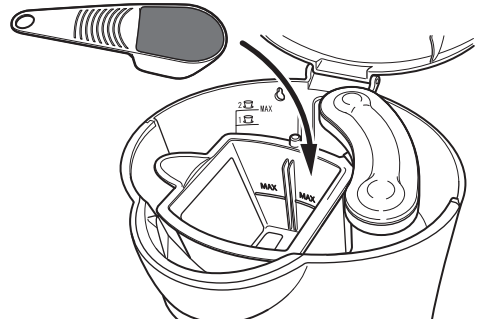
- ・メッシュフィルターの取っ手は向かって左側にし、本体に固定されるように取り付けてください。
- ・メッシュフィルターのコーヒー粉最大量の目安MAXの線が手前から見えるようになります。



正しい使いかた（つづき）

3. 必要な量のコーヒー粉をメッシュフィルターに入れる

- マグカップ 2 杯分のコーヒー粉の量は付属の計量スプーンすりきりで約 2 ～ 3 杯が目安ですが、お好みで調節してください。
- メッシュフィルターにある「MAX」を超えてコーヒー粉を入れないでください。コーヒーがこぼれてやけどの原因になることがあります。



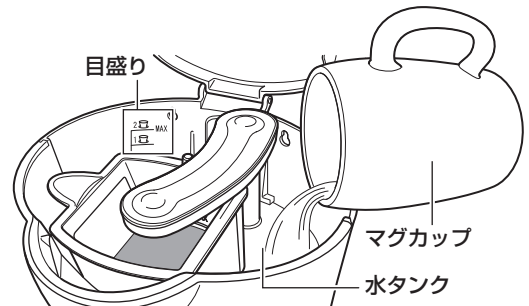
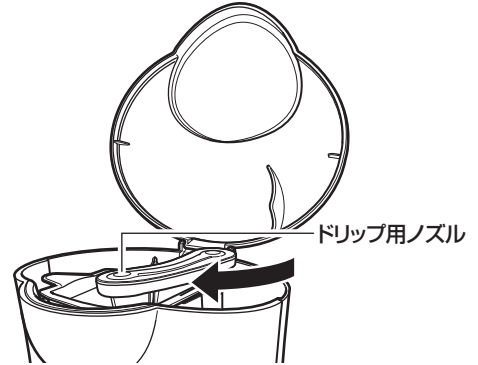
注意 コーヒー粉は、細びき粉を使用しない。

4. ドリップ用ノズルの先端をメッシュフィルターの中央へ移動させる

5. 水タンクに水を入れ、ふたをする

使用するマグカップ、ケトルなどを使用して水を水タンクに入れます。

- マグカップ 1 個のときはマグカップ 1 杯分の水を入れます。水タンク内、左奥の「1 罎」下の目盛りが水量の目安です。
- マグカップ 2 個のときは、マグカップ 2 杯分の水を入れます。水タンク内、左奥の「2 罎」下の目盛り (MAX) を超えて水を入れないでください。



ミネラルウォーター使用時のお願い

- 硬度 200 以上のものは使用しないでください。製品内部の水管に湯アカ（ミネラル分）が付着して、抽出時間が長くなったり、最後までドリップできなくなる場合があります。
- できるだけ硬度 100 以下のものを使用してください。
- 使用中に抽出時間が長く感じられましたら、レモン汁での洗浄を行ってください（「お湯の出が悪くなったとき」9 ページ参照）。



- 水道の蛇口から直接水を入れない。感電やショートの原因になることがあります。
- 水は、目盛り「2 罎」以上入れない。
- 本体やマグカップに水やコーヒーが入った状態で、本体を持ち運ばない。
- 水タンクに水以外のものを入れない。故障や変形の原因になります。

6. マグカップ2つを抽出口に合わせて マグカップ台にのせる

本機は同時に2つの抽出口からコーヒーがドリップされます。必ず右図のように2つの抽出口の真下にマグカップを置いてください。

※2つのマグカップのコーヒーの量は均等でない場合があります。

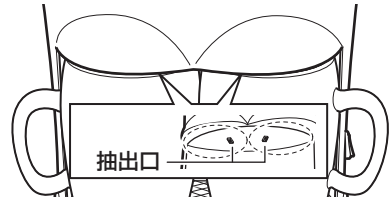
※ドリップを途中で止められないため、マグカップを途中で替えることはできません。

7. 電源プラグをコンセントに差し込み、 電源スイッチを入(Ⅰ)にする

電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入(Ⅰ)にすると、電源ランプが点灯し、しばらくするとコーヒーの抽出(ドリップ)が始まります。

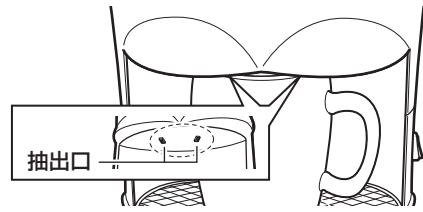
・熱めのコーヒーを飲むときは、あらかじめマグカップを温めておいてください。

マグカップ2つするとき





※ マグカップの位置を抽出口に合わせてください。

マグカップ1つするとき



※2つの抽出口から同時にドリップされますので、マグカップ1つときは、マグカップが2つの抽出口の中央にくるように置いてください。

 警告	ドリップ中はふたの周辺から蒸気が出るので顔や手を近づけない。 やけどの原因になります。
--	--

 注意	空だけはしない。 故障の原因になります。
--	-------------------------

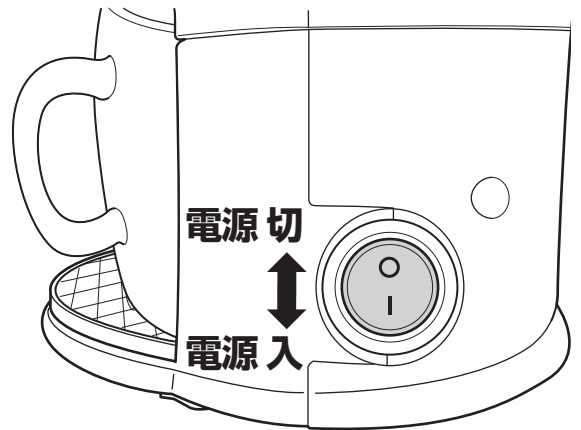
8. ドリップが終了したら、電源スイッチを切(Ⅱ)にして、電源プラグをコンセントから抜く


・コーヒーの滴下に気をつけてください。抽出口から滴下するコーヒーは熱いため、やけどの原因になります。

・ドリップ完了後、マグカップをすぐに取り出さないでください。(約1~2分間お待ちください。) コーヒーが滴下する恐れがあります。

・ドリップしたあとにコーヒー粉を捨てるときは、本体が完全に冷めてからふたを開け、ドリップ用ノズルを本体右側に移動させてメッシュフィルターを取り出し、コーヒー粉を捨ててください。

・保温機能はありませんので早めにお召し上がりください。



 警告	使用しないときは、必ず電源スイッチを切(Ⅱ)にして電源プラグをコンセントから抜く。 火災の原因になります。
--	--

正しい使いかた（つづき）

続けてコーヒーを作るとき

本体が冷めるまで約10分以上放置したあと、手順3から手順6までをくり返し、電源スイッチを入（I）にしてください。電源ランプが点灯し、しばらくすると、コーヒーの抽出（ドリップ）が始まります。

途中で中止するとき

電源スイッチを切（O）にして、ドリップを止め、電源プラグをコンセントから抜いてください。

数分待ってコーヒーの抽出（ドリップ）が完全に止まってからマグカップを取り出します。

水タンクから水を捨てるとき

電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから、電源プラグ・電源コードを持った上で本体を持ち上げ、本体左側から水を捨ててください。

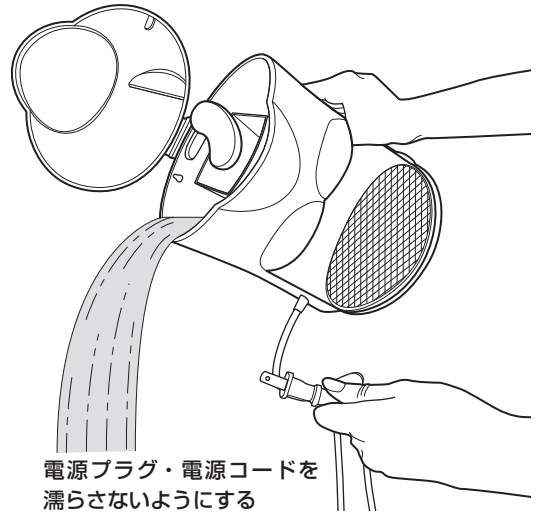


水タンクの水を捨てるときは、電源プラグ・電源コードを濡らさないように手に持って、本体左側に傾ける。
前もってメッシュフィルターやマグカップをはずしておき、電源関係を濡らさないようにご注意ください。

マグカップお取り扱い上のご注意

- 洗浄の際は、たわし、クレンザーを使用せず、柔らかいスポンジなどでやさしく手洗いし、ふきんなどで水気を拭き取ってください。
- 電子レンジ・食器用洗浄機・食器乾燥機・漂白剤は使用禁止
変色の原因になりますので、電子レンジ・食器用洗浄機・食器乾燥機・漂白剤の使用はできません。
- オープンでの使用はできません。

材質：陶磁器



電源プラグ・電源コードを濡らさないようにする

お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。
感電やけが、やけどの原因になります。

お願い

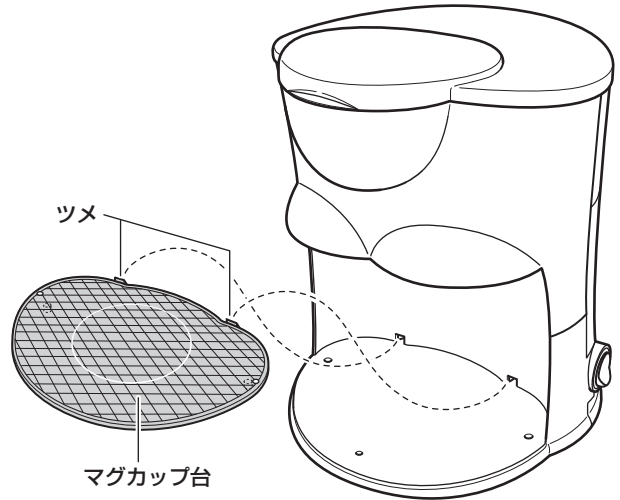
住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください（変形・変色の原因になります）。

本体は水をかけて洗わないでください（感電・故障の原因になります）。

本体のお手入れ

水タンクに水が残っているときは、水を捨ててください（「水タンクから水を捨てる時」8ページ）。マグカップ台を取りはずして、お手入れすることができます。手前を持ち上げて取りはずします。本体はぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）。

取りはずしたマグカップ台は、奥のふたつの穴にマグカップ台のツメを入れて取り付けます。



メッシュフィルター・マグカップ・マグカップ台のお手入れ

水またはぬるま湯で汚れを落とし、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください（樹脂部分やメッシュフィルターは強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります）。

保存のしかた

お手入れのあと、よく乾燥させてください。ポリ袋などをかぶせ、お買い上げの商品が入っていた箱に入れて、湿気のない場所に保存してください。

お湯の出が悪くなったとき

1. レモン汁 1 個分（タネと絞りかすを除く）と水 2 カップを、2 つのマグカップに入れてよくかき混ぜます。
2. かき混ぜたレモン汁を水タンクに入れ、コーヒーを作るときと同じ操作をします。
3. 1. と 2. を 2 回繰り返したあと、マグカップの水を捨てます。
4. 水だけで 2 ～ 3 回ドリップし、レモンのおいをとります。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
ドリップできない コーヒーができない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	プラグを正しく差し込む
	・水タンクに水が入っていない	水タンクに水を入れる
	・コーヒー粉が入っていない	コーヒー粉を入れる
コーヒーがあふれる	・コーヒー粉か水を入れすぎている	コーヒー粉・水を適切な量入れる ※ 6 ページ参照
2つのマグカップのコーヒーの量の差が大きい	・ドリップ用ノズルの先端がメッシュフィルターの中央にない	ドリップ用ノズルの先端を確実にメッシュフィルターの中央へ移動する
	・本体が傾いている	本体は水平な台や机に置き、下に物があるか確認する
	・抽出口にコーヒーなどが詰まっている	9 ページのお湯の出が悪くなったときの処置をする つまようじなどで抽出口に詰まったものを取り除く
マグカップにコーヒーが入らない	・抽出口に合わせてマグカップを置いていない	抽出口に合わせてマグカップを置く ※ 7 ページ参照
電源プラグをコンセントに差ししていたがコーヒーがぬるくなっている	・本機に保温機能は付いていません	コーヒーができたなら、電源プラグをコンセントから抜いて、早めにお飲みください
コーヒーがぬるい	・寒冷地など厳しい環境で使用していて、早く冷める	コーヒーができたなら、電源プラグをコンセントから抜いて、早めにお飲みください
	・マグカップをあたためていない	マグカップをあたためてから、コーヒーを抽出してください

長年ご使用のコーヒーマーカーはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシヤお客様相談室に点検をご相談ください。

MEMO